

令和元年度 職員提案 提案数20件 採用数2件

提案名	提案内容	現状・問題点	効果
<p>ポケットWの導入</p>	<p>携帯翻訳端末である「ポケットW」はオンライン対応の双方向型多言語対応翻訳機である。対応言語数、翻訳の正確性、翻訳スピードに優れており、ビジネス会話や長文にも対応している。下記のとおり、試験導入を行い、最終的には庁舎総合案内窓口をはじめ、各階に1台ずつ配置する。</p> <p>◎他の機器との比較 ≪代表的な翻訳機≫ ①ポケットW 価格：simモデル35,488円（税込み） Wi-Fiモデル30,088円（税込み） （参考）レンタルの場合の相場 1日500円～900円（保険料別） 翻訳の方向性：双方向翻訳 対応言語：74言語 インターネット接続：必要（オンライン、クラウド型） 翻訳スピード：0.6秒、 翻訳精度：非常に高い（ビジネス会話・長文にも対応） 連続動作時間：約6時間（連続待受時間：約120時間） 特徴：人混みでも使えるスピーカー&デュアルマイク搭載</p> <p>②イリー 価格：10,499円（税込み） （参考）レンタルの場合の相場 1日300円～500円（保険料別） 翻訳の方向性：一方向翻訳 対応言語：英語・中国語・韓国語 インターネット接続：不要（オフライン、辞書アプリ） 翻訳スピード：最速0.2秒 翻訳制度：普通（短文は翻訳精度が高いが、ビジネス会話・長文には対応不可） 連続動作時間：約8時間（連続待受時間：約120時間） 特徴：インターネット接続の必要がなく手軽に利用できる →オンライン（simモデル、Wi-Fiモデル）対応の翻訳機は、値段は高いものの、クラウド型であり、翻訳の精度は非常に高い。また、ポケットWは双方向で74言語に対応おり、インターネットが使える環境下であれば、外国人対応を誰でもスムーズに行える。</p> <p>◎実用に向けた検証・試験導入について 試験方法①： 観光案内所、本庁舎総合案内窓口に期間限定で配置する。翻訳機を利用した際、対応職員にはアンケート調査を行う。 試験方法②： 「青梅マラソン大会ポストン青少年交流」および「ホストタウン事業」等外国人との交流機会の際に、翻訳機を日にち指定でレンタルし、担当者に実際に使用してもらい、使用后、アンケート調査を行う。 ≪アンケート項目≫ ①使いやすさ、②対応はスムーズに行えたか、③その他意見</p> <p>◎導入実績のある自治体 ・「滋賀県甲賀市」では平成30年12月11日から平成31年3月20日までポケットWの試験導入が行われている。</p> <p>◎自治体向け補助金・交付金制度において対象の可能性があるもの ・区市町村観光インフラ整備支援補助金（東京都） （別紙概要参照） ・外国人受入環境整備交付金（法務省） （別紙概要参照）</p> <p>スケジュール 10：30～12：00 講義 13：00～15：00 SIM2030体験 15：15～16：15 振り返り 対象者：係長以下全職員（各課割り当て。合計50名） 講師：今村寛氏 （福岡市役所 総務部長兼中小企業振興部長） 費用：講師報奨金 0円 交通費 41,220円（往復航空券、JR等乗車券） 宿泊費(素泊り) 6,480円（コンフェスティン河辺） 合計 47,700円（実費相当分） 時期：平成30年11月30日（金）または平成31年3月中旬 ※年内の講師の空き日程は11月30日（金）のみであり、それ以降であれば来年の3月中旬～下旬となってしまう。そのため、11月30日（金）実施が望ましい（講師日程確保済）。</p>	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックが来年に迫る中、ピクトグラムの推進や語学ボランティアの募集等、外国人対応に関する環境の整備が急速に進められている。また、青梅市でもホストタウン事業や青梅マラソン大会でのポストン青少年交流事業等を行っており、今後更にグローバル化が進むと考えられる。しかしながら、青梅市の外国人対応における環境は、職員の中で英語等各言語を話せる者を事前調査する等の対応は行っているものの、実際に窓口対応となるとスムーズに行うことは難しく、まだまだ外国人には利用しづらい環境にある。</p>	<p>外国人に対する窓口対応のサービス向上。</p>

令和元年度 職員提案 提案数20件 採用数2件

提案名	提案内容	現状・問題点	効果
<p>乳児を連れての方が訪れることが多い課の窓口の机の角にクッションゴムを取付ける</p>	<p>椅子に座らせることができない乳児を連れての方が訪れることが多い課の窓口の机の角にクッションゴムを取付ける。</p>	<p>椅子に座らせることができない乳児を抱っこして窓口に来庁し、前かがみになって申請書等を記入している時、乳児の頭を窓口の机の角にぶつけていた。場合によっては大怪我につながる。 また、乳児の頭が机の角にぶつからないように保護者が頭を支えながら申請書等を記入しており、記入しづらそうにしている。</p>	<p>窓口の机の角にクッションゴムを取付けることで、万が一、乳児が机の角に頭をぶつけても怪我を防ぐことができる。</p>